

ID	
氏名	
年齢	
科名	病棟

【術前】 Nivolumab+GEM+CDDP療法

3 週毎 3 コース予定

非小細胞肺癌

主治医

指導医

HBs抗原()、HBs抗体()、HBc抗体()、HCV抗体()

スケジュール

		day1	day8
オプジーボ(ニボルマブ)	360 mg/body	↓	
ゲムシタビン	1000 mg/m ²	↓	↓
シスプラチン	75 mg/m ²	↓	

【注意】 *他剤使用時は、ニボルマブ投与前に血管確保用生食にてフラッシュすること。

*ニボルマブは、0.2 又は 0.22 μ mインラインフィルターを通して投与すること。

*一日の尿量が 3000 mL以上になるように調整すること。

*シスプラチンは遮光のこと。

*治療前日から翌々日まで通常の飲水に加えて、経口補水液 500 mLを 1 日 2 本飲水すること。

通常量より減量する際の理由

(レジメン)

day 1

- ① 生食 500 mLにて血管確保 維持(20 mL/時間)
- ② オプジーボ 360 mg + 生食 64 mL 点滴静注30分(200 mL/時間)
◎メインの生食でフラッシュ
- ③ 生食 500 mL + L-アスパラギン酸K 10 mEq + 硫酸Mg補正液 4 mEq
点滴静注60分(500 mL/時間)
- ④ パロノセトロン 0.75 mg + デキサメタゾン 9.9 mg(3 mL)+ アロカリス 235 mg + 生食 100mL
点滴静注30分(200 mL/時間)

◎メインの生食でフラッシュ

- ⑤ ゲムシタビン + 生食 100 mL 点滴静注30分(200 mL/時間)
- ⑥ 20 %マンニトール200 mL 点滴静注30分(400 mL/時間)
- ⑦ シスプラチン + 生食 300 mL 点滴静注120分(240 mL/時間)

*生食 200 mLをバッグから前もって抜いておく

- ⑧ 生食 500 mL + L-アスパラギン酸K 10 mEq + 硫酸Mg補正液 4 mEq
点滴静注60分(500 mL/時間)

◎終了後メインの生食でルート内フラッシュ

day 2 - 4 デキサメタゾン錠 8 mg 内服

day 8

- ① 生食 500 mLにて血管確保 維持(20 mL/時間)
- ② デキサメタゾン 6.6 mg(2 mL) + 生食 20 mL 側管静注
- ③ ゲムシタビン + 生食 100 mL 点滴静注30分(200 mL/時間)

	1 コース		2 コース		3 コース	
	day 1	day 8	day 1	day 8	day 1	day 8
	/	/	/	/	/	/
オプジーボ 開始時間	↓	↓	↓	↓	↓	↓
ゲムシタビン 開始時間	↓	↓	↓	↓	↓	↓
シスプラチン 開始時間	↓	↓	↓	↓	↓	↓
確認						